

令和4年度 一般社団法人 長崎県障害者スポーツ協会 事業報告

I. はじめに

昨年につづき、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、障害者スポーツが制約の多い一年であり、地域におけるスポーツ活動を通じた障害者の交流も大きく制限された状況でした。

その中においても、障害者の健康体力の維持増進のための指導体制を整える目的で、障害者スポーツ指導員のスキルアップ研修会を実施するなど積極的に取り組みました。

一方、開催が迫った「2024パリパラリンピック」に日本代表として出場を目指す、各競技の強化指定選手及び指導者の活動支援に取り組みました。

さらに、協会の組織強化の基盤作りを目的に「福祉販売」、「テーマ募金」などの事業も積極的に取り組みました。

また、障害者スポーツの裾野を広げる取り組みとして、東京パラリンピックで活躍した本県出身の車椅子バスケットボール選手を招き、ゲーム開催や体験会等を実施しました。

II. 総 括

1. 会 議

(1) 総 会

令和4年6月19日（日）

- ・令和3年度事業報告について
- ・令和3年度収支決算報告について
- ・令和4年度事業計画について
- ・令和4年度収支予算について
- ・定款の改正について
- ・役員の改選について

以上について、それぞれ承認されました。

(2) 理 事 会

第1回 令和4年5月20日（金）

- ・定款の一部改正について
- ・役員の推薦について
- ・令和3年度事業報告・収支決算報告・総会付議事項について

第2回 令和4年6月19日（日）

- ・役員の選定について

第3回 令和5年3月16日（木）

- ・職員給与規程改正（案）について
- ・令和4年度収支補正予算（案）・令和5年度事業計画（案）・収支予算（案）について
- ・令和4年度長崎県障害者スポーツ協会表彰について
- ・総会付議事項について

以上について、それぞれ承認されました。

(3) 正副会長会

第1回 令和4年4月28日（木）

- ・令和4年度第1回理事会提案事項について協議しました。

第2回 令和5年2月22日（水）

- ・令和4年度第3回理事会提案事項について協議しました。

Ⅲ. 実施事業

1. 第22回長崎県障害者スポーツ大会の開催（受託事業）

◎ 目 的

共生社会の実現に向け、ノーマライゼーションの理念のもと障害者スポーツを振興し、障害者のスポーツ活動の日常化と競技力の向上を図るとともに、より積極的社会参加と生活の質の向上に資することを目的として開催しました。

(1) 日時：令和4年5月29日（日）

(2) 競技種目・参加者数

競技会場	競技種目	参加者数
長崎市総合運動公園（かきどまり） 陸上競技場	陸上競技	300名
長崎市総合運動公園（かきどまり） 補助競技場	フライングディスク	103名
諫早市中央体育館（メイン）	ボッチャ	111名
諫早市中央体育館（サブ）	ユニカール	33名
大村市アーチェリー場	アーチェリー	7名
県立総合体育館（メイン）	卓球	67名
県立総合体育館（多目的室）	サウンドテーブルテニス	2名
長崎市民総合プール	水泳	54名
長崎ラッキーボウル	ボウリング	161名
参加選手合計		838名

(3) 参加者数

・選手数	838名	
・選手団役員数	98名	
・競技役員・補助員	347名	
・スタッフ数	75名	計：1,358名

2. 全国障害者スポーツ大会選手団強化練習及び派遣事業（受託事業）

◎ 目的

障害のある選手が、障害者スポーツの全国的な祭典である本大会に参加し、競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障害に対する理解を深め、障害者の社会参加の推進に寄与することを目的とします。

(1) 選手団の強化練習について

① 強化練習会場

個人競技：7競技 団体競技：3競技

競技	練習会場
陸上競技	県立総合運動公園補助競技場 佐世保市総合グラウンド陸上競技場
水泳	長崎市民総合プール
アーチェリー	佐世保市総合グラウンドアーチェリー場
卓球（STT）	県立総合体育館（多目的室・第一会議室）
フライングディスク	県立ろう学校
ボウリング	長崎ラッキーボウル
ボッチャ	諫早市新道交流センター
聴覚バレーボール（男子）	県立ろう学校 諫早市新道交流センター
聴覚バレーボール（女子）	シーハットおおむら 雲仙市小浜体育館
ソフトボール	大村市総合運動公園

② 実施回数：各競技2回

③ 練習日及び参加者数

競技	練習日	選手数	役員数	合計
陸上競技	8月6日（土）・10月2日（日）	12名	8名	20名
水泳	9月4日（日）・10月2日（日）	4名	2名	6名
アーチェリー	8月22日（月）・9月16日（金）	1名	2名	3名

卓球（STT）	8月21日（日）・10月1日（土）	5名	4名	9名
フライングディスク	9月4日（日）・9月25日（日）	4名	2名	6名
ボウリング	10月9日（日）・10月16日（日）	3名	2名	5名
ボッチャ	8月28日（日）・9月25日（日）	2名	2名	4名
聴覚男子バレーボール（男子）	9月18日（日）・9月25日（日）	10名	3名	13名
聴覚バレーボール（女子）	9月23日（金）・10月16日（日）	10名	4名	14名
ソフトボール	9月25日（日）・10月16日（日）	13名	4名	17名

（２）選手団派遣について

① 長崎県選手団結団壮行式

「全国障害者スポーツ大会」と「国民体育大会」の結団壮行式が合同で実施されました。

・日時：令和4年9月14日（水）

・場所：県立総合体育館

② 第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」

・日時：令和4年10月29日（土）～10月31日（月）

・派遣：10月27日（木）～11月1日（火）

③ 長崎県選手団参加競技競技及び参加者数

競技会場	競技種目	参加選手数
カンセキスタジアムとちぎ	陸上	12名
日環アリーナ栃木屋内水泳場	水泳	4名
那須烏山市緑地運動公園多目的競技場	アーチェリー	1名
TKCいちごアリーナ	卓球	5名
栃木市総合運動公園陸上競技場	フライングディスク	4名
三和住宅にすなすのスポーツプラザ	ボッチャ	2名
足利スターレン	ボウリング	3名
宇都宮市清原体育館	バレーボール（聴覚）	20名
美原公園野球場	ソフトボール	13名
	合計	64名

◎選手：64名 役員：33名 選手団合計：97名

④ 獲得メダル数

金メダル 6個 （内大会新記録1：陸上競技）

銀メダル 12個

銅メダル 11個

計 29個

3. 障害者スポーツ普及・活性化事業（受託事業）

◎ 目 的

障害者がスポーツを楽しみ、交流の場をもうけ、健康で明るい生活の促進を目的に、スポーツ・レクリエーション教室や競技力向上支援等の取組みを行いました。

(1) 障害者スポーツの裾野を広げる取組みについて

車椅子バスケットボールイベントとして「車いすバスケットボールで長崎を元気に！」を開催しました。

東京パラリンピックの「車いすバスケットボール競技」で銀メダルに輝いた川原凜選手、鳥海連志選手がメインイベンターとして参加し、盛大に開催できました。車椅子バスケットボールのゲーム、体験会を通じて障害者スポーツを観る、支える、応援する、理解するという共生社会を目指す感動のイベント開催でした。

- ・日時：令和5年1月29日（日）
- ・場所：県立総合体育館
- ・観客：700名

(2) 障害者スポーツ人材バンク

障害者スポーツ指導者を登録する「障害者スポーツ人材バンク」を運営し、さらなる活用に向けたPR活動を行い、障害者スポーツの活性化を図りました。

① 障害者スポーツ人材バンクの運営

- ・「障害者スポーツ人材バンク」に6名が登録しました。（現在110名）

② 制度周知のためのPR活動

- ・スポーツ・レクリエーション教室及び普及活動等において、「障害者スポーツ人材バンク」制度を紹介し、地域スポーツ活動への人材派遣について説明しました。
- ・登録者の中から、長崎県障がい者スポーツ指導者協議会からの推薦を得た6名を委嘱し、各地域に出向いて活動できる人材を「障害者スポーツ普及指導員」として、年間を通して活動しました。
- ・障害者スポーツ指導員をスポーツ・レクリエーション教室等に派遣しました。
(障害者スポーツ普及指導員)・・・11カ所に延べ13名派遣
(人材バンク)・・・・・・・・・・16カ所に延べ28名派遣
(競技指導者)・・・・・・・・・・4カ所に延べ2名及び4団体派遣
【派遣状況】・・・・・・・・・・21カ所に延べ43名及び4団体派遣

(3) 障害者スポーツ・レクリエーション教室の開催

障害者スポーツの裾野を広げる取組みとして、地域団体、施設、特別支援学校等を調査し、スポーツ教室の実施を要請されるところに積極的に出向き、スポーツ

に取り組む楽しさと継続を指導しました。

- ① 普及研修会の開催状況・・・7カ所 226名参加
・障害者スポーツ・レクリエーション教室を実施していくうえで、指導員等を対象としたスキルアップ研修会を実施しました。
- ② 普及活動の開催状況・・・5カ所 約335名参加
・従来のスポーツ教室やイベントの中で障害者スポーツを紹介して、体験していただきました。
- ③ 普及教室の開催状況・・・5カ所 169名参加
・依頼があった施設などでスポーツ・レクリエーション教室を行いました。

(4) 各団体競技チーム等の競技力向上のための支援

- ① 団体競技の更なる振興・強化を図るために「競技力向上の支援」を行いました。
- ② 団体競技の九州ブロック地区予選会参加経費を助成しました。
- ③ 団体競技の練習会を視察し助言等を行いました。

4. 障害者スポーツ振興事業

(1) 地域スポーツ交流事業

① 障害者スポーツ・レクリエーション教室の開催

地域ごとに障害者の親睦・交流を促進するとともに、障害者の心身の健康維持と体力増強、より積極的な社会参加の推進を図ることを目的に開催しました。

※例年約17カ所の地域で皆さんが集い、楽しいスポーツ教室を開催しています。

本年度も開催希望の申請はされたものの、新型コロナウイルス感染症拡大の厳しい状況が続き、4地域以外はすべて中止となりました。

【障害者スポーツ・レクリエーション教室の開催状況（地域別）】※参加者 140名

No	開催月日	開催地区	会場	実施種目	参加者
1	10月16日	壱岐市	大谷体育館	フライングディスク・ボッチャ・ユニカール	50人
2	11月6日	大村市	大村市立大村小学校	フロッカー	50人
3	11月22日	佐々町	佐々町町体育館	ボッチャ・ユニカール	11人
4	2月26日	南島原市	布津町 世紀の泉	フライングディスク・ボッチャ・コーンホール	29人

② 各地域の障害者施設、学校関係、地域のイベント等での開催

各々のイベント等において障害者スポーツの紹介や体験会などを実施しました。

【障害者スポーツ・レクリエーション教室の開催状況（施設等）】※参加者 706名

No.	開催月日	事業名	内容	参加者
1	5月3日	長崎市手をつなぐ育成会スポーツ教室	ボッチャ・フッカー	30名
2	7月20日	県立対馬高校障害者スポーツ体験会	ボッチャ	145名
3	9月5・12日	長崎医療子ども専門学校ボッチャ研修会	ボッチャ	39名
4	9月10日	諫早市南地区老人クラブ連合会障害者スポーツ教室	ボッチャほか	12名
5	9月23日	佐世保市スポーツ推進委員講習会	ボッチャ	13名
6	10月2日	山澄地区自治協議会生涯学習部	ボッチャ	43名
7	10月2日	県スポーツ推進員協議会女性委員会主管研修会	ボッチャ	110名
8	10月2日	第3回五島市長杯ボッチャ大会	ボッチャ	120名
9	11月12日	第6回木谷隆行杯長崎県特別支援学校長会ボッチャ大会	ボッチャ	64名
10	11月20日	波佐見町立東小学校PTAレクリエーション	ボッチャ	50名
11	2月19日	長崎市手話サークルボッチャ交流会	ボッチャ	34名
12	3月14日	雲仙市老人クラブ連合会「軽スポーツ普及講習会」	ボッチャ	46名

(2) 障害者スポーツ指導員養成事業

① 「障がい者スポーツ指導員（初級）養成講習会」の開催

日本パラスポーツ協会公認障がい者スポーツ指導員制度の規程に基づき開催しました。

- ・開催日：令和5年1月14日（土）・15日（日）・21日（土）・22日（日）
- ・開催場所：サン・アビリティーズ佐世保、佐世保市労働福祉センター
- ・受講者数：14名
- ・研修科目：講義【22時間】

月日	研修科目	時間
1月14日（土）	障がい者スポーツの意義と理念	1.5
	各障がいのスポーツ指導上の留意点と工夫（実技）	3.0
	障がいのある人との交流（実技）	1.5
1月15日（日）	安全管理	2.0
	スポーツのインテグリティと指導者に求められる資質	1.5
	コミュニケーションスキルの基礎（演習を含む）	1.5
1月21日（土）	各障がいの理解の理解（I）	2.0
	障がい者スポーツに関する諸施策	1.5
	全国障害者スポーツ大会の概要	2.0

1月22日(日)	障がい者スポーツ推進の取り組み	1.5
	各障がいの理解の理解(Ⅱ)	4.0
	合計	22.0

② 障害者スポーツ指導員の育成

- 日本パラスポーツ協会公認障がい者スポーツ指導員を地域スポーツ教室及び普及事業等へ指導者として派遣しました。
- 「障害者スポーツ指導員スキルアップ研修会」を開催しました。
 - ・開催日：令和4年9月17日(土)
 - ・会場：諫早市小野体育館
 - ・参加者：公認指導員20名 一般15名 計35名
 - ・研修内容：長崎県障がい者スポーツ指導者協議会と連携し、協会登録の競技団体の協力を得て実施しました。

(3) 障害者スポーツに関する調査研究事業

各県及び指定都市が進めている障害者スポーツ振興の現状や課題、並びに、パラスポーツの動向等の報告を含む、今後のスポーツ振興についてのビジョン等を共有し、情報交換を通じて交流することを目的としています。

- ①「全国障害者スポーツ大会障害区分判定研修会」への参加
 - ・令和4年7月9日(土)・10日(日) ハートピア鹿児島
- ②「障がい者スポーツ九州ブロック連絡協議会」への参加
 - ・令和4年7月13日(水) 福岡クローバープラザ
- ③ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト第2ステージ
パラリンピック競技測定会 九州ブロック・福岡会場(測定会スタッフとして参加)
 - ・令和4年12月24(土) 福岡クローバープラザ
- ④障がい者スポーツ指導者協議会九州ブロック研修会 in 大分への参加
 - ・令和5年2月11日(土)・12日(日)
- ⑤障がい者スポーツ協議会合同会議(全国)への参加
 - ・令和5年3月7日(火)・8日(水) ベルサール東京日本橋

(4) 障害者スポーツ活動等支援事業

① 令和4年度長崎県障害者スポーツ協会表彰

永年にわたり本県障害者スポーツの普及・強化にご尽力いただいた1企業に特別功労賞、6名に功労賞、1名に優秀指導者賞、本年度国内の主要な大会で顕著な成績を収めた6名に優秀選手賞への授与について、令和5年2月22日(水)開催の令和4年度の長崎県障害者スポーツ協会被表彰者の審査会提案をもとに、3月16日(木)開催の第3回理事会において承認されました。

【スポーツ特別功労賞】

- ・株式会社 九州ガスホールディングス：高額のご寄贈による

【スポーツ功労賞】

- ・田淵 勝利：地域障害者スポーツにおける永年の功労による
- (故)・藤原 信吾：地域障害者スポーツにおける永年の功労による
- ・宅島 博：卓球競技（盲人卓球）における永年の功労による
- ・池田 博子：県障がい者水泳競技における永年の功労による
- ・三浦雄二郎：知的サッカー競技における永年の功労による
- ・小森 峻：車いすバスケットボール競技における永年の功労による

【スポーツ優秀指導者賞】

- ・松田 幹治：知的ソフトボール競技における永年の指導功績による

【スポーツ優秀選手賞】

- ・山下 修司：2021IWBF U-23 世界選手権大会日本代表 優勝
- ・溝口 良太：2021IWBF U-23 世界選手権大会日本代表 優勝
- ・江口 侑里：2022IWBF アジアオセアニアチャンピオンシップ 日本代表 準優勝
- ・太田 歩美：パラ FID ジャパンチャンピオンシップ 卓球大会 ダブルス 優勝
- ・白木 大悟：令和4年度長崎県高等学校総合体育大会陸上競技 200m

(ID 日本新記録)

- ・森田 悠月：2022 ジャパンパラスポーツ水泳競技大会 50m 自由形 第2位

② 川原凜選手、鳥海連志選手の長崎県知事表敬訪問

川原選手は令和5年1月27日（金）、鳥海選手は30日（月）に大石県知事を表敬訪問しました

③ 九州ブロック地区予選会の開催

持ち回りで開催される3競技について主管し開催しました。

(5) 広報・公聴事業

① 協会だより等の発行

- ・協会だより33号（1,500部）、34号（各1,700部）を発行しました。
- ・ホームページの随時更新を行いました。

主な内容

1. 県大会・全国大会・パラスポーツ等に関する情報、報告など
2. 登録団体の活動情報、報告など
3. 地域における障害者スポーツの情報、報告など
4. 各種大会等のお知らせ

② 各種報道機関へ障害者スポーツ選手の情報提供

地元報道機関へ積極的に障害者スポーツの情報を提供し、多くの県民に障害者スポーツ選手の活躍状況を周知しました。

IV. 物品販売事業の推進（福祉販売）

本協会は、障害者スポーツの振興による障害者の社会参加促進に取り組んでおり、自己財源確保及び本協会正会員団体の活動費を確保するため、福祉販売に取り組みました。

売り上げ実績

【単位：円】

販売団体	総売上額	団体販売手数料	協会手数料
会員23団体	2,476,500円	620,730円	766,120円
スポーツ協会	412,000円	—	234,320円
ポロシャツ	144,000円	—	24,000円
計	3,032,500円	620,730円	1,024,440円

※協会手数料には商品代の消費税等を含む

V. 障害者スポーツ活動等振興助成事業

障害者スポーツ振興助成要綱に基づき申請された15団体21事業に対し、各種大会への派遣事業及び開催事業に対して助成しました。また、全国障害者スポーツ大会九州ブロック予選会への参加費用を5チームに助成しました。

VI. 赤い羽根募金「テーマ募金」

(1) 「テーマ募金」助成金による活動報告

① アスリート活動

陸上競技、卓球競技、バスケットボール競技の各強化指定選手の強化合宿参加経費等に対して助成しました。(11名)

② 団体競技活動支援

「全国障害者スポーツ大会九州ブロック予選会」出場に向けての練習会等に対して助成しました。(8チーム)

③ 全国大会派遣選手団活動助成

全国大会に派遣する各選手等へ強化練習会、派遣時の活動助成をしました。

④ 九州ガスホールディングス杯2022長崎県障がい者ボッチャ大会

令和4年11月27日(日)開催で準備を進めていましたが、新型コロナウイルス感染症予防対策の観点から開催を中止としました。

⑤ 九州ブロック地区予選会の開催

持ち回りで開催される以下3競技について主管し開催しました。

【知的サッカー】

・開催日：令和4年4月23日(土)・24日(日)

・開催場所：島原市営平成町多目的広場

【知的バスケットボール】

- ・開催日：令和4年5月7日（土）・8日（日）
- ・開催場所：諫早市とどろき体育館

【知的ソフトボール】

- ・開催日：令和4年5月15日（日）
- ・開催場所：長崎市総合運動公園運動広場

⑥ 競技用具購入

地域スポーツ振興のため、競技が盛んなボッチャ競技の用具（審判具、競技用車いすベルト等）を購入しました。

「テーマ募金」助成金内訳

【単位：円】

	助成事業名	事業総経費	テーマ募金
1	アスリート活動	710,000円	710,000円
2	団体競技活動支援	240,000円	240,000円
3	全国大会派遣選手団活動助成	261,272円	261,272円
4	九州ガスホールディングス杯 2022長崎県障害者スポーツ大会開催準備	93,459円	93,459円
5	九州ブロック地区予選会開催	979,257円	392,690円
6	ボッチャ競技等用具購入他	150,975円	150,975円
	計	2,434,963円	1,848,396円

(2) 募金活動の取り組み

令和4年度赤い羽根募金（令和5年度助成）テーマ募金（使途選択募金）へ昨年引き続き参加し、多くの方のご理解とご協力を得て、目標額を達成しました。

事業名：障害者スポーツ普及強化事業

- 活動概要：
- ・国内外の主要大会・合宿等に参加するトップアスリートへの活動支援
 - ・団体競技の強化支援や全国障害者スポーツ大会に参加する選手団への活動支援
 - ・障害者のスポーツ活動の場を広げる大会の開催
 - ・地域における障害者スポーツ啓発活動の事業推進

募集期間：令和5年1月1日（日）～3月31日（金）

目標額：1,000,000円

募金額：1,622,402円（71件）

昨年実績：1,694,968円（70件）

Ⅶ. サントリーチャレンジド・スポーツアスリート奨励金の給付

国内企業の支援事業であるサントリーチャレンジド・スポーツアスリート奨励金の対象事業に承認されました。

Ⅷ. その他の事業

(1) 日本パラスポーツ協会功労章受賞

土岐 達志：永年、地域における障がい者のスポーツの普及、育成、発展に尽力した功績により表彰されました。

(2) 障害者スポーツ協会・賛助会員について

本協会の組織強化、事業充実を図るため、自己財源確保を目的に賛助会員の増員に取り組みました。

◆令和4年度の賛助会員数

・団体賛助会員・・・・・・・・・・ 33【2団体増】

・個人賛助会員・・・・・・・・・・ 708【79名増】

(内：特別支援学校16校664名の教職員)

(3) 障害者スポーツ用具の貸し出しについて

本協会管理のスポーツ用具を貸し出し、障害者スポーツの普及に役立てました。

競技用具	借用回数	借用団体
ボッチャ	16	長崎医療技術専門学校ほか
競技用車いす	3	長崎市障害福祉センターほか
フロッカー	2	さんらいず
グランドゴルフ	1	長崎県ろうあ協会
フライングディスク	1	県立希望が丘高等特別支援学校
ヒットだ！ターゲット	1	就労支援B型事業所たまご
スラローム	2	県立諫早特別支援学校ほか